

親子でつくる 緊急マニュアル

～子どもが日本人と外国人市民の架け橋に～



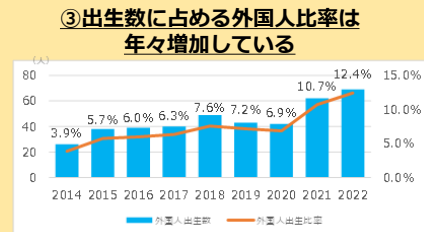
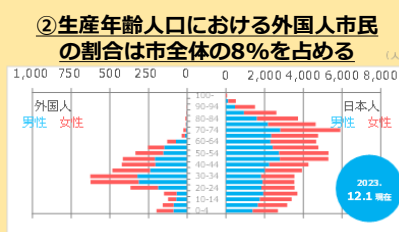
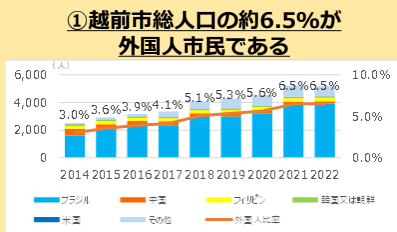
福井豪雨

市道土砂流出

課題：外国人市民の防災意識向上

いざというときに日本人も外国人市民もみんな防災に取り組めるまちにしたい！

【根拠データ】



【目指すゴール】

近年災害が増加する中、「多様な母国語を持つ外国人市民」を多く抱える越前市。市と学校、家族の絆で誰も取り残さない越前市を目指す。

【提案】💡子どもたちが架け橋に！

「外国人を含む全ての家庭」で「家族がわかる言語」を使って「親子でつくる緊急マニュアル」の制作を行う。小学校で毎年継続して防災教室を実施し、宿題として親子で防災について話し合いながらマニュアルに記入してもらう。

居住場所(地域)によって、危険度や避難場所が違う



緊急マニュアル



「わが家の」緊急マニュアルを各家族でつくることで対応可能

文化や環境の違いによっては災害予防という概念が無い



毎年家族で防災を考える教育でシビックプライド醸成

災害時に不安を感じる越前市の外国人市民はとても多い



日常生活での不安第2位「災害時」



どんな言語の人にも愛される安心安全なまちを皆でつくる

【アイデアのポイント】

多様な家庭の防災教育を子どもたちが中心となって地域全体が連携することで実現する。

市役所 実態調査やハザードマップの整備、災害時の情報発信

教育委員会 小学校への通達、社会の授業である防災の単元を活用する提案

小学校 防災教室の実施、家庭で作られたマニュアルの確認

市民 親子で話し合っ**て家族が分かる言語**で緊急マニュアルを制作

ウェルビーイング

GOOD

